



《基本方針》

君津のすべての子どもたちが楽しく充実した読書ができる環境づくり

第四次計画における3つの柱

子どもたちと子どもたち周辺の大人への支援

発達段階に応じた取組

社会情勢に応じた柔軟な取組

子どもの発達段階に応じた取組

《乳児期(妊娠期～誕生～2歳)》

○重点目標

- ・子どもがはじめて本と出会うきっかけづくり
- ・読み聞かせ等本に触れる機会の定着を図るための家庭へ向けた継続的な支援

○柱となる取組

- ①ブックスタート事業のポストコロナの状況に応じた柔軟な運営
- ②乳児が本に親しめる機会の充実
- ③子育て家庭への継続的な支援



《幼児期(3歳～就学前)》

○重点目標

- ・子どもが自発的・継続的に読書に親しむための豊かな読書体験を楽しめる取組
- ・子どもと絵本をつなぐ、身近な大人(保護者・保育者など)に対する啓発・支援

○柱となる取組

- ①乳児期から幼児期にかけての継続的な読書活動の支援
- ②子どもの身近にいる大人へ読書の大切さを伝える啓発活動
- ③読書環境の整備と情報発信



《児童期(小・中学生)》

○重点目標

- ・学校や家庭で、自ら本を用いて学習・読書活動に親しめる子どもを育てるための体制づくり
- ・子どもが様々な本と出会うための環境作り

○柱となる取組

- ①学校や家庭における「読書活動」や「本を活用する活動」の推進
- ②学校図書館の整備・充実
- ③子どもの読書活動を充実させサポートできる体制作り



《その他(地域・全体)》

○柱となる取組

- ①読書に苦手意識のある大人に向けた取組
- ②環境の継続的な整備
- ③配慮を要する子どもや家族への支援
- ④君津子ども読書月間と家読(うちどく)の推進



目標指標 : 読書の好きな子どもの割合の増加

小5 : 80.0% (2022年度) ⇒ 85.0% (2027年度)
 中2 : 71.5% (2022年度) ⇒ 80.0% (2027年度)

※君津市総合学力調査より



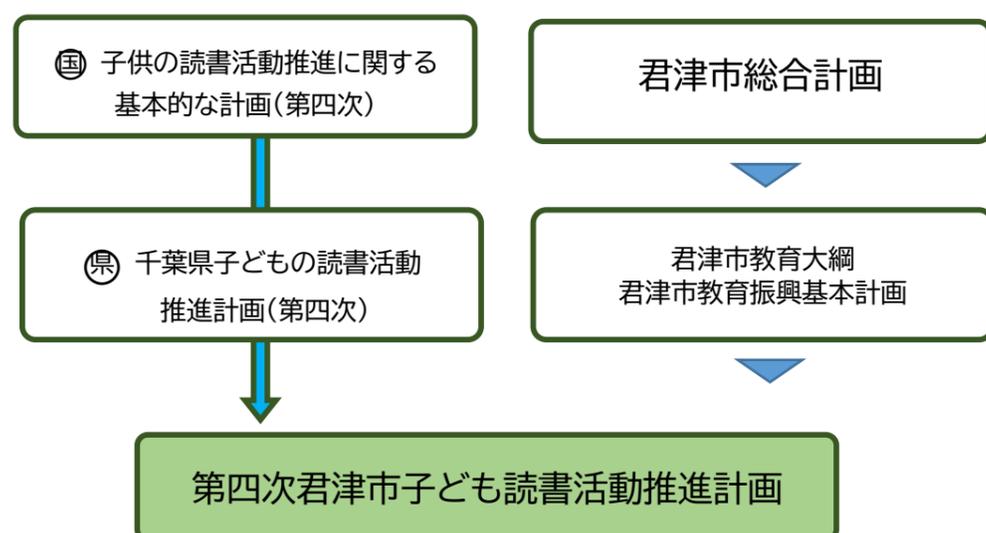
□計画期間

令和5年度から令和9年度（2027年度）までのおおむね5年間とします。

□計画の位置づけ

本計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づく「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画（第四次）」及び「千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）」を基本とし、本市の子どもの読書活動を推進するための計画です。

「君津市総合計画」をはじめとした本市の各計画との整合を図りながら、子どもの読書活動を推進していきます。



□計画の推進体制

子どもの読書活動推進に関わる各機関、部署は本計画を指針とし、子どもの読書活動推進事業の充実を図ります。

また、また、計画の推進にあたっては、子どもの読書活動に関わる機関・関係団体・市民を交えた「子どもの読書活動推進委員会」を引き続き設置し、本計画の進行管理、評価及び見直しを行っていきます。

□目標指標

第四次計画の達成状況の点検及び評価を行うために、「読書に親しむ機会の充実」「読書支援体制の整備」「啓発の推進」の3つの観点から、具体的な目標および評価指標を設定します。令和9年度（2027年度）を目標年度とし、発達段階に応じた取組の中で、指標の達成に向けた取組を行っていきます。

第四次君津市子ども読書活動推進計画 （概要版）

～「君津のすべての子どもたちが

楽しく充実した読書ができる環境づくり」に向けて～



君津市教育委員会